

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	観光推進事業	コード	23201
-------	--------	-----	-------

2 担当部課	部等	産業振興部	課等	商業観光課	作成者	原 尚彦
--------	----	-------	----	-------	-----	------

3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
		政 策	産業の振興	施 策	観光の振興
		予算科目	観光宣伝費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	観光客に対して情報提供するほか、観光関係事業者と協働でイベント等を開催し、観光振興を図る。		
目的	対象者	観光客及び観光事業者	
	意 図	誘客及び観光振興	

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
<p>1. 横河川桜アーチ（4/8～23） 2. 第12回出早公園かたくり祭り（4/16～28） 3. 第64回信州岡谷塩嶺小鳥バス（5月、6月毎日曜日計8回） 4. 鶴峯公園つつじ祭り（5/6～16） 5. 第19回塩嶺王城パークランハーフマソン大会（5/28） 6. 第11回由布姫あじさい祭り（6/25～7/22） 7. 第48回岡谷太鼓まつり（8/13、14） 8. 出早公園もみじ祭り（10/25～11/7） 9. 第37回ふるさとまつり（11/2） 10. 「うなぎのまち岡谷の会」支援事業</p> <p>各種イベントの情報発信を行うとともに、イベントを開催し誘客に努めた。</p>			
前年度の課題への対応			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	情報発信件数			単位	件
実績値	1,500	1,600	1,600		
*指標の説明	情報提供を実施した機会件数				
② 成果指標（指標名）	HPアクセス数			単位	件
目標値	85,000	88,673	95,425	86,192	
実績値	86,091	92,646	83,682		
達成度	101.3%	104.5%	87.7%		
*指標の説明	HPアクセス数				
*目標値の設定方法の説明	前年度実績＋3%				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	26,844,867	34,733,601	30,515,096	32,806,500
経常経費	26,655,017	27,334,754	26,972,096	28,905,500
臨時的経費	189,850	7,398,847	3,543,000	3,901,000
* 臨時的経費の説明	臨時的なイベント等に対する経費			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	640,000	640,000	640,000	640,000
正規職員の人数(人)	0.08	0.08	0.08	0.08
③ 合計コスト(①+②)	27,484,867	35,373,601	31,155,096	33,446,500
前年度比		128.7%	88.1%	107.4%
財源				
一般財源	27,484,867	35,373,601	31,155,096	33,446,500
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	18,197	17,484	17,258	
前年度比		96.1%	98.7%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
諏訪地方観光連盟負担金	件数	1	1	1
	金額	1,977,000	1,784,000	1,855,000
長野県観光機構負担金	件数	1	1	1
	金額	136,000	136,000	136,000
諏訪地区山岳遭難防止対策協会負担金	件数	1	1	1
	金額	95,000	95,000	95,000
信州まつもと空港利用促進協議会負担金	件数	1	1	1
	金額	20,000	20,000	20,000
高山植物等保護対策協議会負担金	件数	1	1	1
	金額	6,000	6,000	6,000
塩嶺王城観光開発協議会負担金	件数	1	1	1
	金額	830,000	830,000	830,000
塩嶺王城観光開発協議会負担金(産業観光分)	件数	1	1	1
	金額	100,000	100,000	100,000
長野県観光情報提供システム	件数	1	1	1
	金額	10,000	10,000	10,000
岡谷太鼓まつり負担金	件数	1	1	1
	金額	12,000,000	12,000,000	12,660,000
小鳥バス事業負担金	件数	1	1	1
	金額	550,000	550,000	600,000
鶴峯公園つつじ祭り負担金	件数	1	1	1
	金額	1,700,000	2,276,000	2,276,000
出早公園もみじ祭り負担金	件数	1	1	1
	金額	100,000	100,000	100,000
出早公園かたくり祭り負担金	件数	1	1	1
	金額	55,000	55,000	55,000
ふるさとまつり負担金	件数	1	1	1
	金額	1,181,998	1,400,000	1,000,000
誘客宣伝事業負担金	件数	1	1	1
	金額	1,500,000	1,500,000	1,500,000
姉妹都市物産交流事業負担金	件数	1	1	1
	金額	255,519	324,254	240,596
寒の土用丑の日事業負担金	件数	1	1	1
	金額	100,000	100,000	100,000
横河川花回廊整備補助金(小井川区)	件数	1	1	1
	金額	95,000	95,000	95,000

横河川花回廊整備補助金（西堀区）	件数	1	1	1	1
	金額	95,000	95,000	95,000	95,000
岡谷市観光協会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	5,380,000	5,636,500	5,636,500	7,147,000
観光HPデータベース維持管理費	件数	1	-	-	1
	金額	256,500	-	-	256,500
岡谷太鼓普及事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	212,000	212,000	212,000	212,000
信州シルクロード連携協議会負担金	件数	-	1	1	1
	金額	-	10,000	10,000	10,000
信州デスティネーションキャンペーン負担金	件数	-	1	1	1
	金額	-	495,000	891,000	248,000
諏訪地方観光連盟負担金（地方創生）	件数	-	1	1	1
	金額	-	5,833,000	1,992,000	2,690,000
うなぎのまち岡谷（地方創生）	件数	-	1	-	-
	金額	-	538,847	-	-
信州ビーナスライン連携協議会負担金	件数	1	1	-	-
	金額	100,000	532,000	-	-
小口太郎生誕120周年記念事業負担金	件数	-	-	-	1
	金額	-	-	-	200,000
無線LAN環境整備事業	件数	1	-	-	-
	金額	89,850	-	-	-
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	26,844,867	34,733,601	30,515,096	32,806,500
	割合	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

*行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価	*妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
②	民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③	民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④	国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤	この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価	*有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。	有効性	標準
評価項目		はい	いいえ
①	この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
②	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③	この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④	この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 90.3%	0
⑤	年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 87.7%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) すぐに結果が現れる事業ではないが、継続的な取り組みが必要な事業である。	
	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 広域的な連携や民間事業者との協働により効率的、効果的な事業推進が可能となるため、一層の連携を推進する。	
改善方法		
改善開始時期	H30. 4	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---